



ユートリー開館25周年記念

ユートリー開館 25周年記念 **じばさんまつり** 2017 10/28(土)29(日)



おかげさまで開館25周年を迎えました!



千葉幼稚園の園児によるお遊戯



南部手踊り



ラジオ公開生放送



地元出展者の新鮮野菜販売



全国の地場産業振興センター展示販売

(一財)八戸地域地場産業振興センター(ユートリー)は、昨年12月に開館25周年を迎えることが出来ました。これもひとえに皆様の温かいご支援、ご愛顧の賜物と心より感謝申し上げます。そこで、当センターはこの記念事業として「じばさんまつり」を平成29年10月28日(土)29日(日)の2日間、一階の大ホール・館内及び屋外で開催いたしました。オープニングセレモニーでは、千葉幼稚園の子供たちによる可愛いお遊戯の披露と関係者のテープカットで幕開けとなりました。1階大ホールでは、北は岩手県から南は宮崎県の全国24地域の地場産業振興センターをはじめ、地元から26の出展者が集まり、全国各地の名産

品が勢揃いし、大盛況でした。特に、数量限定のものは商品入荷前から長蛇の列ができ数分で完売するなど、多くの来場者が訪れ終日賑っていました。28日(土)には、人気ラジオ番組「十日市秀悦のサタデー横丁」の公開生放送で、全国の地場産センター職員が地場製品のPRをし、会場は大盛り上がりでした。また、「八戸小唄・八幡馬のうた 雅会」による「南部手踊り」は来場者も一緒になって踊り、楽しんでいただきました。

「じばさんまつり」が大盛況のうちに終了することができ、皆様のご協力に感謝申し上げますとともに、今後も地場産業の一層の振興、活性化のためにご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

九州北部豪雨災害 復興支援販売



チャリティ 八戸せんべい汁 を実施しました



ユートリーでは、開館25周年記念「じばさんまつり」において、大分県・日田玖珠地域産業振興センターのある日田市に被害をもたらした九州北部豪雨の災害復興支援として、日田玖珠地域特産品のPR販売とチャリティ八戸せんべい汁を実施しました。

PR販売では、名産のゆずをまるごと使った「ゆず羊羹」やご当地グルメで話題の「日田焼きそば」などを豊富に取り揃えました。なかでも「柚子こしょう」は初日に完売するほど人気が高く、この商品をお目当てにいらしたお客様もいました。

チャリティでは、八戸せんべい汁研究所のご協力を頂き、100円以上の募金で八戸せんべい汁が1杯食べられる募金活動を行いました。1日200食限定で朝10時からスタートしましたが、多くのお客様にお越し頂き、両日とも早々に完売し、募金箱には多くの善意が寄せられました。

募金総額は61,621円となり、11月9日(木)にユートリーから「大分県日田市災害支援口座」へ全額寄付致しました。皆様からのご厚情に、心から感謝申し上げます。

大好評!

平成29年度

ユートリー 新商品 人気コンテスト



開館25周年記念「じばさんまつり」と同時開催となりました当コンテストは、八戸地域をはじめ青森県内の特産品を使った新商品を消費者に広くPRすることを目的とし、来場者の人気投票を行なっております。毎年多くの方々にお越し頂き、好評を博しています。

今回は5業者から出品があり、各社それぞれの自慢の新商品をPRしていました。また、お客様も試食を楽しみながら、お気に入りの商品に一票を投じていました。

見事、コンテスト第1位に輝いたのは、(株)GMK(金剛グループ)の「八戸鯖味噌カレー」となり、「鯖味噌煮とカレーの相性が抜群」、「斬新でしかも美味しい」などお客様から多くのお声を頂きました。

平成29年度 ユートリー 新商品人気コンテストランキング

第1位



(株)GMK(金剛グループ)

八戸鯖味噌カレー

食べるとクセになる鯖の味噌煮とカレーの意外な組み合わせ。

第2位



(株)グローバルフィールド

特産地鶏青森シャモロック手作り地鶏バーグ

「青森シャモロック」を使った濃い味わいのジューシーなハンバーグ。

第3位



(株)ヤイチ

バジル香る いわしのアヒージョ

八戸産の新鮮なイワシを使い、いろんな料理にもアレンジできる一品。

第4位



(同) マルカネ

サバディップ・カレー味

臭みの少ない八戸の鯖をミンチ状にオイル漬けした、カレー味のディップ。

第5位



銜柏崎青果

青森県産黒ごぼう入り野菜だしスープ編

青森県産の新鮮な野菜8種類の旨味が簡単に楽しめるスープ。

※このコンテストは、八戸地域および青森県産の特産品を使って開発された新商品を消費者に広くPRすることを目的に開催されました。

※コンテスト出品商品は、ユートリー1階「おんであんせユートリーおみやげショップ」にて好評販売中です。

クローズアップ8市町村

田子町



たっこにんにく

にんにくの町と呼ばれる、田子(たっこ)町は十和田湖の南東、青森県の最南端に位置し、美しい山々や滝など、豊かな自然に囲まれた町です。

人口約5,700人、総面積242平方km、扇形をしたその地形は地図で見ると「にんにく」のようにも見えます。

また、町では「たっこにんにく」の更なるブランド化へ向け取り組んでおり、平成29年10月に、田子で生まれ、田子で育ち、田子で選別された、にんにくの種苗である「たっこ一号」が、種苗登録されました。



みろくの滝

町の西北には、ブナの原生林に囲まれる瑞々しい緑のトンネルを抜けると、立ちふさがる巨大な岩が目の前に現れ、新緑の春、黄金色の秋、と四季折々の風景を見ながら、滝のマイナスイオンを感じることのできる「みろくの滝」があります。地元では、流れる滝がソーメンに似ていることから、「ソーメンの滝」とも呼ばれ、観光客からは、某有名キャラクターの横顔にも似ていて、パワースポットとも呼ばれています。目の前にする「みろくの滝」は圧巻です。



町が誇る食材の、たっこにんにくをふんだんに使用した、ニンニクフルコースランチ「田子ガーリックステーキごはん」が、平成28年3月29日にデビューし、デビューから588日で4万食を突破しました。通称「ガリストステーキごはん」は、現在、2017バージョンとして提供しており、3月には新たに、2018バージョンを提供予定ですので、是非ご賞味ください。

田子ガーリックステーキごはん ※写真は、2017バージョンです。

町内では、春夏秋冬イベントが盛りだくさんです。その中でも、特産の「たっこにんにく」にまつわるイベントが、6月下旬開催の、にんにくの収穫時期しか味わえない生にんにく。その生にんにくを収穫体験できる「田子にんにく収穫祭」、そして、9月下旬開催の「にんにくとべごまつり」は、町最大のイベントで年々来場者が増加しており、特産のたっこにんにくと、希少価値の高いブランド牛の田子牛を存分に堪能でき、姉妹都市のアメリカギルロイ市からもゲストが来場するなど、国際色豊かなイベントとなっており、目玉の田子牛丸焼きは、毎年来場者を圧倒させ、買い求める人で行列ができます。2月下旬開催の「たっこにんにくまつり」では、町内外の料理人による、NINNIKU 料理オンリー1の店決定グランプリや、田子の鍋販売、冬の盆踊り大会などが開催されます。その他、さくらまつり、つつじまつり、たっこグルメマラソン、スノーフェスタなど、町では様々なイベントを開催し、皆様をお待ちしておりますので、是非お越しください。



上: 田子牛丸焼き、下: 姉妹都市交流



田子にんにく収穫祭



たっこにんにくまつり

平成
29年度

地場産業活性化セミナー開催



平成30年1月23日(火)、当センターで地場産業活性化セミナーを開催しました。今年度は、デザインの専門家でありマーケティングや販売促進に関するコンサルティングを行っている、株式会社ノイエ代表取締役の熊谷淳一様をお招きし、「商品やサービスを売るためのしくみ“良さそう”の法則」をテーマにご講演いただきました。

熊谷様は①自社の強みを知る②他社との差別化③ターゲットを明確に④訴えるデザインの4つの法則があること、また、売れる商品パッケージやマーケティング及びデザインの重要性について感情を動かすキャッチコピー等、参考になる商品を事例にお話しいただきました。

今回のセミナーでは、約60名の様々な業種の方々にお集まりいただき、今後の販路拡大にお役立ていただければと思います。

25年間ありがとう ユートリー展示の山車解体へ

約25年間にわたり、当センター1階で展示されていた八戸三社大祭の山車が、老朽化などで解体されるのに伴い、祭り関係者による感謝セレモニーが平成30年2月4日に開催されました。八戸市は7月をめどに、せり上がりの仕掛けが動くミニ山車や歴史・郷土芸能を解説するパネルなどを設けた新しい展示ホールにリニューアルし、今回山車から撤去された人形や装飾なども再利用して展示する予定です。

セレモニーでは、山車組を代表して新井田附祭振興会がお囃子と木遣り音頭を披露したほか、門口光子社中による「南部俵積み唄」も“有終の美”に華を添えました。



◎詳しい情報はホームページをご覧ください

ユートリー |

検索

ユートリー・一般財団法人八戸地域地場産業振興センター

TEL.0178-27-2227